

MUFGカーボンニュートラル宣言

～ 2050年までの投融資ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロ、および2030年までの自社自らのGHG排出量ネットゼロの達成をめざす～

パリ協定の合意事項達成のため、事業を通じて脱炭素社会へのスムーズな移行を支援し、環境と経済の好循環による持続可能な社会の実現に積極的に貢献

ファイナンスを通じた脱炭素化実現へのコミットメント

- 2030年の中間目標を2022年度中に設定、開示。進捗を年次で報告
- 適切なエンゲージメント機能の発揮
- イノベーション技術やトランジションの取り組みを積極的に支援

☑ 脱炭素に向けたファイナンス積極支援

☑ 再エネ、水素・次世代エネルギー等支援

☑ サステナブルファイナンス目標の設定 **20→35兆円**

☑ 国連主導のネットゼロ・バンキング・アライアンスへの参加

☑ 「MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク」の継続的な見直し **石炭火力**

☑ 石炭火力発電関連与信残高の将来目標の開示

☑ 気候変動リスクの与信プロセスへの反映

自社独自で進める脱炭素化

- MUFG自身の環境負荷低減
- 利益の一定割合を社会貢献活動に拠出する枠組みの活用

☑ 自社契約電力の100%再生可能エネルギー化 **2021年 (銀・信・証、国内)**

☑ 再エネファンド立ち上げ **1,000億円**

☑ 次世代エネルギー需要創出

☑ カーボンオフセット (植林等)

パリ協定と統合的な目標設定と情報開示の拡充・透明性向上

- SBT等の科学的手法を活用したパリ協定と統合的な目標設定、各種グローバルイニシアチブへの参画
- ステークホルダーの理解向上と適切なリスク判断に資する透明性の高い開示の実現
- TCFDシナリオ分析における対象セクターの拡大やリスクの財務インパクトへの反映方法の改善

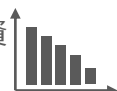
科学的アプローチ (SBT等)



CO2削減目標 (再エネPF)



石炭火力発電向け融資残高削減目標 (PF)



コミュニケーションツール充実 (サステナビリティレポート、小冊子)



カーボンニュートラル実現を支える体制の強化

- 上記を実現するガバナンス／体制／人材／インテリジェンス (情報収集・発信) 等の強化

役員報酬への ESG要素反映

取締役会による基本方針策定 **環境方針**

グループ・グローバルのプロジェクトチーム

外部リレーションの強化 外部知見の活用強化

プロ人材の強化・育成